

北見工業大学学報

第 301 号 (2020 年 9 月号)

目 次

学位記授与式	令和 2 年度 9 月期学位記授与式を举行……………	2
入 試	大学院入学試験を実施……………	3
	令和 3 年度編入学試験(第 2 次募集)実施告知……………	4
研 究 助 成	令和 2 年度外部資金受入状況……………	5
人 事 賞	人事異動……………	6
	地域国際系の伊藤敦准教授が日本ホスピタリティ・マネジメント学会 2019 年度奨励賞を受賞……………	7
	情報通信系のショウ シュン助教が電子情報通信学会 通信ソサイエティ活動功労賞を受賞……………	8
諸 報	本学大学院生が国際会議 SPIES2020 で BEST PAPER AWARD を受賞……………	9
	「科学英語論文執筆セミナー」及び「KIT-R 説明会」を開催……………	10
	おもしろ科学実験オンデマンドを開催……………	11
	五島慶太翁胸像の移設と屋外時計の新設……………	12
	Web オープンキャンパスの公開……………	13
職員表彰を実施……………	14	
情 報 公 開	財務諸表等の開示……………	15
日 誌	8 月・9 月……………	16

= 学位記授与式 =

令和2年度9月期学位記授与式を挙行

(総務課)

9月7日(月)、令和2年度9月期学位記授与式が本学第1会議室で行われました。

授与式では、理事、副学長、事務局長、指導教員が列席するなか、学部卒業生、大学院工学研究科博士前期課程・博士後期課程修了生及び論文博士に対し、鈴木聡一郎学長から学位記が授与され、「技術者・研究

者には、新型コロナウイルス感染症に伴う大きな社会変化に対応していく力が求められます。本学で習得した知識や経験を十二分に活用して、変化の波に呑まれることなく、柔軟な対応で大いに社会で活躍してください。」との言葉がありました。



鈴木学長（左）より学位記を授与される修了生



卒業生・修了生に告辞を述べる鈴木学長

= 入試 =

大学院入学試験を実施

(入試課)

8月25日(火)～26日(水)、令和2年度秋季及び令和3年度大学院入学試験(第1回)を実施しました。課程別専攻別の合格者数等は、下表のとおりです。

令和2年度(秋季)博士前期課程

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械工学専攻	若干人	0	0	0
社会環境工学専攻		1	0	0
電気電子工学専攻		0	0	0
情報システム工学専攻		1	0	0
バイオ環境化学専攻		0	0	0
マテリアル工学専攻		1	1	1
合計			3	1

令和2年度(秋季)博士後期課程

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
生産基盤工学専攻	若干人	4	4	4
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻		5	5	5
医療工学専攻		0	0	0
合計			9	9

令和3年度博士前期課程(第1回募集)

専攻名	入学定員	募集人員			志願者			受験者			合格者		
		一般入試	特別入試等	計	一般入試	特別入試等	計	一般入試	特別入試等	計	一般入試	特別入試等	計
機械工学専攻	22	11	若 干 人	22	20	0	28	20	0	25	20	0	25
		11			8			5			5		
社会環境工学専攻	20	10		20	23	0	27	23	0	26	23	0	26
		10			4			3			3		
電気電子工学専攻	20	10		20	14	0	26	14	0	26	14	0	26
		10			12			12			12		
情報システム工学専攻	16	8		16	6	0	13	6	0	13	6	0	13
		8	7		7			7					
バイオ環境化学専攻	18	9	18	3	1	7	3	1	7	3	1	7	
		9		3			3			3			
マテリアル工学専攻	16	8	16	11	0	20	11	0	20	11	0	20	
		8		9			9			9			
合計	112	112			121			117			117		

※一般入試の上段は推薦入試、下段は学力試験入試

※特別入試等は外国人留学生特別入試、高等専門学校専攻科生特別入試及びユニバーサルコース入試の合計

令和3年度博士後期課程(第1回募集)

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
生産基盤工学専攻	3	1	1	1
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	3	0	0	0
医療工学専攻	2	1	1	1
合計	8	2	2	2

令和3年度編入学試験(第2次募集)実施告知

令和3年度編入学試験(第2次募集)を実施します。詳細については、本学ホームページをご覧ください。

(該当 URL <https://www.kitami-it.ac.jp/topics/12763/>)

= 研究助成 =

令和 2 年度外部資金の受入状況

(研究協力課)

	令和 2 年 9 月 30 日 までの合計		前号までの合計		令和 2 年度累計	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
共同研究	11	18,621	90	68,175	101	86,796
受託研究	4	4,650	6	35,514	10	40,164
奨学寄附金	15	9,482	32	29,409	47	38,891

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現 職 名	氏 名	新 職 名 (発令事項)
2. 8. 31	工学部機械電気系助教	CAO YING	辞職
2. 9. 1	(新規採用)	(みやた まみ) 宮田 真美	財務課事務職員
2. 10. 1	工学部応用化学系助教	木場 隆之	工学部応用化学系准教授
〃	学務課学生支援室事務職員	宮崎 廉	財務課事務職員
〃	財務課事務職員	尾谷 修斗	研究協力課事務職員
〃	研究協力課事務職員	影浦 隆之	学務課学生支援室事務職員

= 受賞 =

地域国際系の伊藤敦准教授が日本ホスピタリティ・ マネジメント学会 2019 年度奨励賞を受賞

(地域国際系)

この度、地域国際系の伊藤敦准教授が日本ホスピタリティ・マネジメント学会の2019年度奨励賞を受賞しました。

この奨励賞は、ホスピタリティ・マネジメントに関する学術的研究や実践的活動を行っている新進気鋭の研究者に対して贈られる賞です。

今回は、伊藤准教授の単著研究論文「医療保険におけるフリーアクセスの正当化の

条件」(日本ホスピタリティ・マネジメント学会誌「HOSPITALITY」第29号(2019年3月31日発行))が選出されました。

この論文は、日本の医療保険におけるフリーアクセスの前提問題への蓋然性や妥当性に対する論証を踏まえて、正当化の条件を示したもので、学術振興並びに社会的貢献度の高い学術論文として高く評価され、今回の受賞となりました。

情報通信系のショウ シュン助教が電子情報通信学会 通信ソサイエティ活動功労賞を受賞

(情報通信系)

9月16日(水)、本学のショウ シュン助教(Shao Xun、情報通信系)が、一般社団法人電子情報通信学会通信ソサイエティ大会において、「通信ソサイエティ活動功労賞」を受賞しました。この賞は、通信ソサイエティ投稿論文の査読委員として論文誌

編集活動に貢献した者に贈られる賞です。

ショウ先生は、通信ソサイエティ論文誌に投稿される論文を通じた学术交流活動の活性化に多大な寄与をしたものとしてその貢献が評価され、今回の受賞となりました。



賞状

本学大学院生が国際会議 SPIES2020 で BEST PAPER AWARD を受賞

(寒冷地・環境・エネルギー工学専攻)

9月15日～18日にオンラインで開催された国際会議 2nd International Conference on Smart Power & Internet Energy Systems (SPIES2020) において、本学大学院生の佐藤孝政さん(博士後期課程 寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 2年、主指導教員：田村淳二教授)が発表した論文“Cooperative Virtual Inertia Control of PMSG based wind generator and battery for Power System Stability Enhancement”が BEST PAPER AWARD を受賞しました。

本国際会議で発表された 103 編の論文の中から BEST PAPER に選定されるのは 3 編のみとなりますが、佐藤さんの論文は第 2 位の評価を受けました。和文タイトルは「PMSG 風力発電機と蓄電池の協調仮想慣性制御による電力システムの安定度改善」。大規模な導入

に伴って電力システムに周波数変動や過渡安定度低下等の悪影響が懸念されている風力発電の更なる導入拡大のため、風力発電の一形態である永久磁石型同期発電機 (PMSG) を用いた風力発電機と蓄電池に協調的仮想慣性制御システムを導入し、電力システムの安定度を向上させようという内容です。

この論文は、電力システムへの悪影響が懸念されている風力発電を逆に利用してシステムの安定度向上を達成しようという点が斬新であり、今後の更なる風力発電の導入拡大にも繋がるものです。電力需要の大半を火力発電に頼っている中で、これら再生可能エネルギー電源の更なる拡大は喫緊の課題であり、それに伴うシステム安定度の問題解決に向けた本研究の今後の進展が期待されます。



BEST PAPER AWARD の賞状

= 諸報 =

「科学英語論文執筆セミナー」及び「KIT-R 説明会」を開催

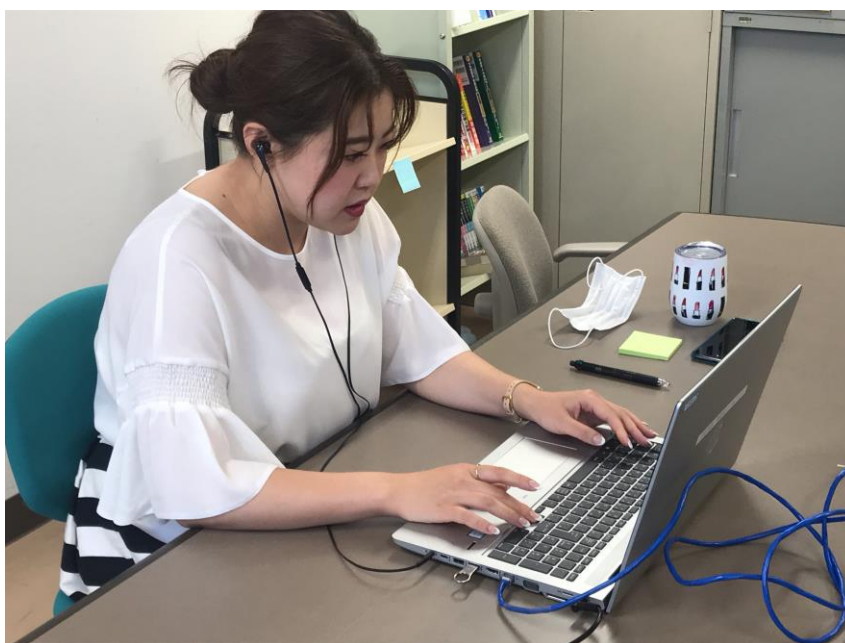
(情報図書課)

7月17日(金)、「科学英語論文執筆セミナー」を開催しました。従来は出版社から外部講師を招いて演習室で実施していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、今回は Zoom にて外部講師の自宅と大学を繋いでの開催となりました。

参加者は 27 人となり、英語による科学論文執筆についての基本、出版社の立場からの執筆における準備、アクセプト(採用)

に至るまでの流れや注意点等について学びました。

セミナーの後には、引き続き「大学機関リポジトリ KIT-R (キットアール) 説明会」を開催しました。栗田とも子係長(目録管理担当)が研究成果を外部公開することによるメリットを紹介し、参加者へ研究成果の提出を呼びかけました。



「KIT-R 説明会」の講演の様子

おもしろ科学実験オンデマンドを開催

(研究協力課)

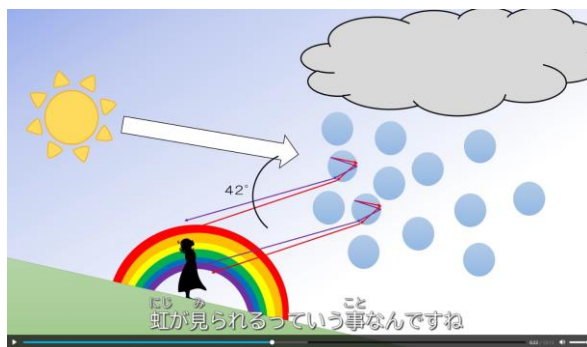
小・中学生を対象に、科学やものづくりに対する興味・関心を喚起するためのイベントとして毎年開催している「おもしろ科学実験」は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、今年は「おもしろ科学実験オンデマンド」として動画配信形式(8月8日(土)～8月16日(日))で開催しました。

『今年はきみの家が研究室だ!』をキャッチコピーに、動画を見ながら自宅で実験・体験できるテーマを学内から募り、「紙飛行機から学ぶ飛行のしくみ」、「透明度の高い氷のつくり方」や「虹を作ろう」など

6テーマの動画を配信しました。

Web開催は初の試みでしたが、これまでの通常開催では市内を中心に延べ500人強の参加があるところ、今回は35都道府県から約700人の参加がありました。各種イベント等の中止が相次ぐなか、本イベントが夏休みを迎えた小・中学生にとって楽しみながら学ぶ機会となりました。

本学では学生及び地域の皆さまの健康と安全を最優先に考慮して、新たな実施方法等を検討しながら、今後もこうしたイベントや地域貢献活動を継続する予定です。



動画の内容



動画作成の様子

五島慶太翁胸像の移設と屋外時計の新設

(施設課)

9月4日(金)、本学創立60周年記念事業の一環として、五島慶太翁胸像の移設と屋外時計の設置が完了しました。

五島慶太氏は東急グループの創業者であり、本学の前身である北見工業短期大学の設立に寄与された方です。当時の北見市長であった伊谷半次郎氏は、北見市の市費の他、北海道や他の市町村、そして地元の人々の寄付から短期大学の設立費用を捻出しようとしていましたが、それでも多大な費用が不足していたそうです。そこで、当時、北見バスを傘下に収めていた東京急行電鉄株式会社社長であった五島氏に寄付をお願いし、快く引き受けていただいたおかげで今日に至っております。

胸像は、教育に理解の深い五島氏に感謝の意を込めて、伊谷市長が建立したものです。開学当時は、現在の講堂横職員駐車場と学生駐車場間の緑地帯奥に正門が構えられており、胸像もこれに隣接して建立され

ました。しかし、その後正門が移設されたことから人目に触れる機会が少なくなり、中にはその存在すら知らず卒業する学生もいたかと思われます。この状況に本学の同窓会から「多くの学生に五島氏の功績を知ってもらい、社会に巣立ってほしい」との声が寄せられ、創立60周年を機に1号館正面玄関前の緑地帯に移設する運びとなりました。

屋外時計は、以前は7号館と8号館に挟まれた螺旋階段棟の外壁に設けられていましたが、経年劣化のため平成20年頃取り外されました。今回、デザインに本学のロゴマークを使用した温度表示付き屋外時計を、来学される全ての方の目に留まるよう正門から入った先、左側に設置しました。

創立60周年記念事業のシンボルとして、五島慶太翁胸像と屋外時計が、多くの方に親しまれるものとなることを期待しています。



移設した「五島慶太翁胸像」



正門の通りに設置した屋外時計

Web オープンキャンパスの公開

(入試課)

例年7月下旬に実施し、北海道内外から多くの参加があるオープンキャンパスですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止せざるを得ませんでした。

これに替えて今年度は7月28日(火)から「All time KIT ～北見工業大学 Web オープンキャンパス～」と題し、大学紹介動画を始めとした北見工業大学の魅力を知ることができるコンテンツをまとめた特設ページを公開しました。

さらにタイアップ企画として、本学の受

験を希望又は検討している高校生を対象に、「2WEEKS！オンライン相談会！ZOOMで直接話を聞こう！」と題した2週間限定のオンライン相談会(9月7日(月)～18日(金))を開催しました。各学科・各コースのブースに加えて女子高生相談ブースを設けるなど、教員18人、学生2人が分担して対応しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、全国的に対面式の相談会実施が制限されている中、自宅や高校に居ながら相談できるとあって、大変好評でした。



Web オープンキャンパス TOP



大学紹介動画

職員表彰を実施

(総務課)

職務上顕著な功績等があった者に対して令和2年度国立大学法人北見工業大学職員表彰を実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため表

彰式は中止となりましたが、被表彰者には9月9日(水)付で表彰状の授与並びに記念品の贈呈を行いました。

被表彰者は、次のとおりです。

北見工業大学職員表彰被表彰者 (50音順)

氏名	成果等
伊藤 敦	日本ホスピタリティ・マネジメント学会 2019年度 奨励賞受賞
平井 慈人	日本材料科学会奨励賞受賞
古瀬 裕章	新しいタイプの異方性セラミックスレーザー材料の開発 (レーザー学会奨励賞受賞)

= 情報公開 =

財務諸表等の開示

(財務課)

国立大学法人法に基づき、令和2年8月31日付けで文部科学大臣の承認を受けた令和元(第16期)事業年度の財務諸表(附属明細書を含む)及び関係書類を本学ホームページ(<https://www.kitami-it.ac.jp/about/info-about-kitami/>)に掲載しましたので、お知らせします。

= 日誌 =

8 月

- 3日 次世代研究者のための講演会
- 4日 総合型選抜等実施委員会
- 5日 発明審査委員会
- 8日 おもしろ科学実験オンデマンド（～16日）
- 19日 教育研究評議会（書面審議）
- 24日 科研費パワーアップセミナー（～9月4日）、
学生委員会
- 25日 令和2年度秋季・令和3年度大学院工学研究
科博士前期課程入学試験
- 26日 令和2年度秋季・令和3年度大学院工学研究
科博士後期課程入学試験
- 27日 教務委員会、広報誌編集委員会
- 28日 ダイバーシティ推進に関する講演会

9 月

- 1日 若手教員科研費勉強会、入学者選抜委員会
- 2日 教授会（書面審議）、研究科委員会（書面
審議）、令和2年度秋季・令和3年度大学院
合格発表
- 3日 令和2年度秋季大学院入学手続き（～11日）
- 4日 令和3年度編入学試験（第2次募集）実施告
知
- 7日 学位記授与式、役員会
- 9日 教務委員会
- 14日 役員会
- 16日 教育研究評議会
- 18日 発明審査委員会
- 23日 北海道地区国立大学学生関係副学長・部課
長会議